

# 特定非営利活動法人にこここ日土、愛媛県八幡浜市(愛媛県八幡浜市)

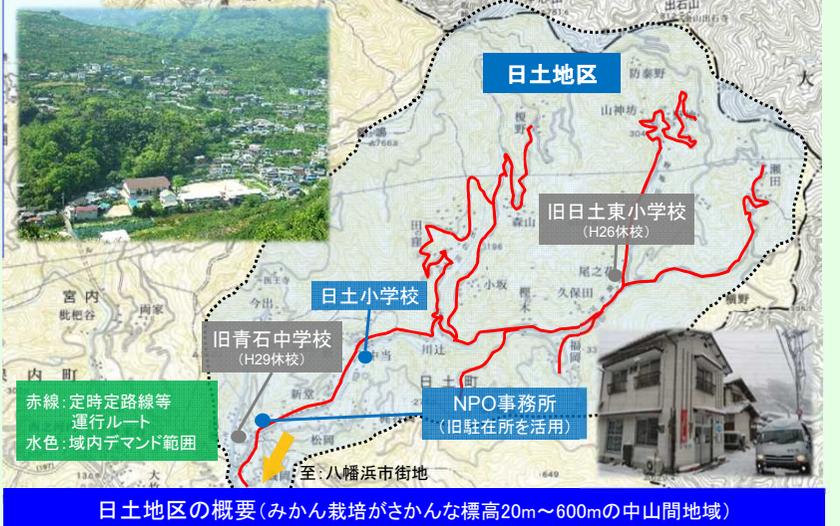
過疎・高齢化が進む中山間地域において、地域住民が立ち上がり、行政との協働により「我がまちの移動手段」をトータルで確保(定時定路線・デマンド・スクール輸送)。運行開始当初と比較し約2.2倍のバス利用者数増を実現し、黒字運営を約10年間継続する等、持続可能な移動手段の仕組みを構築。



## (取組の概要)

### 1. 多様な主体の実質的参画

- (1) 地域住民の熱意と行動
  - 民間路線バス廃止・縮小の危機を受け、**地域住民が立ち上がり**NPOを設立、自ら地域の移動手段を確保
  - 地区住民の会費拠出**による事業運営
- (2) 市による本取組への全面支援
  - 交通担当部署のみならず、学校教育・福祉等各部署が連携、**クロスセクター効果**による便益向上を目指し、NPOの活動を全面的にバックアップ



### 2. 創意工夫

- 『**自分たちのまちは自分たちで**』
- 地域と行政が協働し、高齢者の移動に加え、児童・生徒の通学を含めた**地域の移動手段をトータルで確保**(地区と市街地を結ぶ定時定路線・域内デマンド・小中学校スクール輸送)
- 自ら運転手を確保、無償貸与された旧駐在所(遊休施設)を事務所として有効活用
- 地域ニーズに基づく運行、高齢者の外出機会創出(お遍路巡りツアーなど)、チラシでの会員拡大の取組



### 3. 自立性・継続性

- 事業開始以降、**市・県・国からの運営費補助(欠損補助)が一切なく、約10年間黒字運営を継続、バス利用者数も約2.2倍増**
- 地域住民の満足度が高く、費用対効果の高い活動を継続して取組中

